



英語領域

教授 大澤 聡子

専門分野

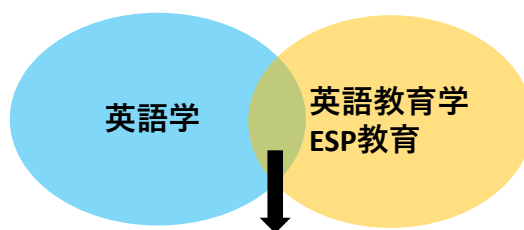
英語学
統語論
英語教育学

学位・資格

英語教育学 修士
中学校教諭専修免許
高等学校教諭専修免許研究者情報
(Research Map)

専門分野と社会との関わり

英語学と英語教育学を専門とします。英語学の中でも、文の構造やその構造を作る仕組みを扱う統語論という分野を専門とします。このような言語学的知識は、「ことば」のコミュニケーションに不可欠なものであり、したがって、英語学の知識は英語コミュニケーションに欠かせません。英語学の基礎知識が円滑で、誤解のない英語コミュニケーションに必要であり、英語運用能力に向上に役立つことを授業の中で伝えています。また、最近では特定の職場で使われる英語、ESP（English for Specific Purposes）が国内の様々な場面で必要になっている一方、教材開発が進んでいない現状から、社会ニーズに応じた教材開発にも取り組んでいます。



- 英語学の知識に裏打ちされた学校教育
- 特定の職場で使われる英語（ESP）の教材開発

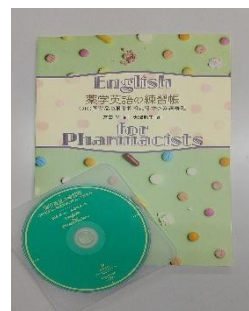
最近の活動紹介

教育活動／研究活動／地域貢献活動

ESP教育と教材開発

英語学と英語教育学を専門としていますが、過去5年間は特に英語教育に注力し、医療関係の英語教材の開発と出版、また出版した教材を使った授業実践報告と今後の教材開発へ向けた研究を行いました。

職場などで特定の目的で使われる英語はESP(English for Specific Purposes)と呼ばれ、国内でも英語対応の場面が増える中、様々な職場でESP教材が必要とされています。



『薬学英語の練習帳』（崩文書林）

授業紹介／ゼミ生による教員紹介

ゼミ生による「英語学」の紹介

私たちのゼミでは英語学を専門に、言語学的な観点から英語の文法や構造、語の意味、言語の背景にある考え方について深く学んでいます。高校までに学んだ知識を超えて、文法の仕組みや表現の違いに着目しながら、英語の本質を理論的に探究していきます。大澤先生はとても優しく、丁寧に理解できるまで根気強く教えてくださいました。

フィールドワークもあり、外国人環境客の多い高山を訪れ、英語話者に英語でインタビューを行い、世界で使われる様々な英語に触れる実践活動を行っています。

